

総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会
小委員会の設置について

分科会等名：計算科学を基盤とした産業競争力強化の検討小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>本小委員会は「計算科学シミュレーションと工学設計分科会」のもとに24期において新規に開始する。</p> <p>これまで、わが国では、国家プロジェクトなどを通じて数多くのシミュレーションソフトウェアの開発が促進され、計算機シミュレーションの利用は、ものづくりをはじめとする様々な産業領域で拡大している。しかし、開発されたシミュレーションソフトウェアが特定の産業分野における標準的な要素技術として定着し、真の意味で産業競争力強化に寄与しうるまでには、一般に長期にわたる継続的な機能の高度化・改良・普及と、これを可能にする体制の構築・維持が必要である。この点で、国産のシミュレーションソフトウェアの成功例はまだ多いとは言えない。</p> <p>本小委員会では、シミュレーションソフトウェアの現状を、産業への実装を中心とした視点から調査する。更に、計算科学の研究成果を産業競争力強化に寄与しうる技術として発展させて裾野を広げ、それにより計算科学の基盤を強化するという好循環を実現するため、今後解決すべき技術的・政策的課題、必要とされる人材およびその育成、情報分野をはじめとする他分野との連携などについて議論し、その結果を報告書としてまとめる。</p> <p>委員の人数構成は産、学同じ程度とし、産学で課題を共有する。</p>
4	審議事項	<p>1. シミュレーションソフトウェアの産業利用の現状と課題の調査</p> <p>2. 計算科学を産業競争力強化に繋げるための技術的・政策的課題を議論し、報告書にまとめることに係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成30年1月25日～平成32年9月30日
6	備考	※24期にて初設置